

## 1 干潟のジオラマをみて、干潟の特徴や曽根干潟に住む生物をあげてみよう。



### 【特徴】

- ・ 餌が豊富
- ・ 希少生物が生息している。  
→生物を餌とする鳥の宝庫でもある。
- ・ 周防灘の沿岸に干潟が発達。
- ・ 泥干潟と砂の混じる干潟がある、等。

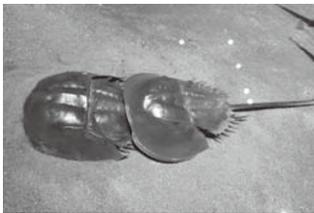
### 【生物】

- ・ ズグロカモメ、カブトガニ、アオサギ、ハクセンシオマネキ、…等。

## 2 ズグロカモメとカブトガニについて、ビデオや展示パネルをみて調べてみよう。



- ・ 全長 32cm ほどの小型のカモメで世界中に約 5000 羽と少なく、国際的に絶滅の恐れのある種に指定されている。中国東部沿岸の湿地で繁殖し、韓国、日本、台湾などの干潟に渡って越冬する。…等。



- ・ 以前は瀬戸内海、九州北部の沿岸部に生息していたが、埋め立てなどで減ってしまい、今では絶滅危惧種に指定されている。現在でも多くのカブトガニが生息している地域は、曽根干潟、福岡市今津湾、佐賀県伊万里湾、山口県山口湾などである。…等

## 3 曽根干潟の役割やはたらきについて、調べたことや感じたことをまとめよう。

- ・ 曽根干潟は潮の満ち引きに応じて、冠水と干出を繰り返し、豊富な酸素と太陽エネルギー、川から流れ込む有機物、栄養塩類などが多くの生物の生息を可能にしている。また、天然の浄化槽として大切な場所である。
- ・ 微小藻類、バクテリア、ゴカイ類のすみかになっており、カニなどにとっての餌が豊富である。さらにカニなどを餌とする鳥も多く飛来し、食物連鎖が成り立っている。…等。